

II. 奈良大学の沿革と現況

奈良大学は、創設者・薮内敬治郎が、経済的に恵まれない勤労青年のため私財を投じ、大正14(1925)年3月に知事認可を受けて設立した無月謝の五年制夜間中学「南都正強中学」に端を発する。当初は薬師寺境内の遊休施設を借りての開校であったが、昭和2(1927)年6月伏見村西大寺70番地(現在の奈良市西大寺東町1-1-9)に校舎を新設して移転した。戦後は昼間課程を加え、授業料を徴収することとした。学制改革にともない、昭和23(1948)年3月には、全日制・夜間制・定時制(土曜午後・日曜に開講)の新制「奈良正強高等学校」として再出発し、昭和29(1954)年4月には中学校を併設し、普通科に商業科、工業科を加えて、法人名も「奈良県正強学園」と改称した。昭和33(1958)年には創立以来の歴史を持つ定時制課程を廃止する一方で、昭和42(1967)年には「正強学園幼稚園」を開設した。

このように学園の体制が整っていくなかで、一貫教育をめざして大学の増設が構想にのぼり、昭和43(1968)年4月の理事会で、1学部(文学部)3学科(国文学科・史学科・地理学科)、入学定員各学科50人・収容定員600人、男女共学の「奈良大学」を、奈良市宝来町1215番地に設置することが可決された。昭和43(1968)年9月30日付で文部大臣への申請を行い、翌44(1969)年3月3日付で「奈良大学」設置と「正強学園」への法人名変更が認可された。

奈良大学は昭和44(1969)年4月19日に第一回目の入学式を執り行い、56人の新入生を迎えた。昭和45(1970)年に98人、46(1971)年に241人、47(1972)年に340人の入学者があり、収容定員はこの年度に充足された。また、校舎についても、昭和44(1969)年度の本部棟・教室棟に続き、45(1970)年3月に教室棟・学生ホール、47(1972)年3月に研究棟と学生棟ブリッジ、48(1973)年3月食堂棟・管理室、9月図書館・教室、50(1975)年教室、と順次竣工し、全体像が完成した。この間、昭和45(1970)年には教育職員免許状(中学校「国語」「社会」・高等学校「国語」「社会」)授与資格の課程認定、51(1976)年には博物館学芸員資格の課程認定を受けている。

更に、昭和54(1979)年4月に文化財学科(入学定員40人)を増設した。「文化財学」という新たな学問分野の確立と専門職員の養成を目指すもので、当時、全国初にして唯一の学科であった。昭和53(1978)年から56(1981)年にかけては、文化財学科の実習棟・収蔵庫の建設、教室の増設、更に体育館(講堂も兼用)の建設なども行われている。

こうして、1学部4学科、収容定員1,240人の体制が整ったが、校地面積39,272m²、校舎面積8,234m²は、既に限界を迎えており、一方で周辺地区は住宅地としての開発が進んでいたため、校地拡張や校舎増設は難しい状況にあった。また、開発にともなう教育環境の悪化も感じられ、新たな校地への移転が検討されるようになった。

移転先としては奈良市山陵町1500番地が選定され、学生数3,000人、敷地123,000m²の新しい奈良大学を目指すこととなった。昭和62(1987)年12月、社会学科・産業社会学科の2学科からなる社会学部(定員各90人)の増設が認可され、ここに2学部と教養部からなる現在の奈良大学の姿が確立した。なお、社会学部では平成11(1999)年4月付で社会学科を人間関係学科、産業社会学科を現代社会学科へ、更に平成19(2007)年4月付で人間関係学科を心理学科へと名称変更を行っている。本学の収容定員は18歳人口急増期に臨時定員増により2,840人となつたが、その後の臨時定員増解消に伴つて減少し、平成19(2007)年現在、入学定員600人、収容定員2,400人となっている。

一方、教育研究支援体制の整備としては、昭和63(1988)年の移転に際して情報処理センターを設置し、平成3(1991)年には「教育研究支援統合ネットワークシステム」を開設した。また、研究面の拠点組織として、平成2(1990)年に総合研究所を設置し、奈良に関係するプロジェクト研究などの場として機能している。

このように教育研究環境の整備が進むなかで、更に高度な研究指導を受けるため他大学の大学院への進学希望者が増加したことに対応して、平成5(1993)年4月に大学院設置の認可を受けた。本学大学院は当初、文学研究科文化財史料学専攻・同国文学専攻、社会学研究科社会学専攻(各定員5人、文化財史料学専攻はのちに10人)の2研究科3専攻、修士課程のみで発足した。同年には、大学院と総合研究所などが使用する「総合研究棟」と同窓会のための「校友会館」が建設されている。平成7(1995)年の修士課程の完成時点で、更に高度の研究を目指す学生の要求に応じるため、文化財史料学専攻博士後期課程(定員2人)を設置、更に平成11(1999)年には文学研究科に地理学専攻修士課程(定員5人)を増設し、2研究科4専攻の本学大学院が完成をみた。うち、文学研究科は教育職員専修免許状授与資格の課程認定を受けている。なお、平成17(2005)年には、社会学研究科社会学専攻に臨床心理学コースを設け、平成19(2007)年4月には臨床心理士受験資格第2種の指定を受けた。更に第1種の指定を目指すなど、より現代的な需要に応じるための体制づくりを進めている。

その後も学内施設の整備は続き、平成6(1994)年には奈良県都祁村(現在の奈良市都祁地区)の野外活動センター建設が、また、平成8(1996)年に収容冊数42万冊を可能とするための図書館増築が、それぞれ実現した。

一方、本学の母体とも言うべき正強高校については、その位置づけを明確にするため、平成8(1996)年に「奈良大学附属高校」と校名変更し(中学は平成16(2004)年3月を以って廃止)、また、平成15(2003)年には法人名も「学校法人奈良大学」に改めた。幼稚園については、大学の研究教育との結びつきを考慮し、先行して昭和63(1988)年に「奈良大学附属幼稚園」と園名を改めており、これら一連の名称変更を通じ、奈良大学を核とした各学校の連携関係、特に高校と大学との連携関係を明瞭にした。

また、学生の間に多様な資格取得の希望が強いことに鑑み、平成16(2004)年には、新たに司書資格・学校図書館司書教諭資格の課程認定と、社会学部現代社会学科(企業社会情報コース)における情報科教育職員免許状授与資格の課程認定を受けた。

学びを目指す人により広く門戸を開けることは、夜間制中学として出発した本学園設立の趣旨に相応しく、地域社会との連帯を深めるとの教学の理念にも則している。このような観点から、平成17(2005)年には通信教育部(文学部文化財歴史学科)を開設し、これに併せ面接指導や事務を行うため、通信教育部棟を新築した。

【沿革】

大正14	(1925)年 4月	南都正強中学創設（夜間）
昭和19	(1944)年 2月	中学校令により、法人名、校名を「奈良県正強中学校」に変更。
昭和21	(1946)年 4月	夜間課程に昼間課程を加え、奈良県正強中学校1部・2部として再出発。
昭和23	(1948)年 3月	学制改革により、新制高等学校の設立。法人名、校名を「奈良正強高等学校」に変更。
昭和29	(1954)年 4月	法人名を「奈良県正強学園」、学校名を「奈良県正強高等学校」に変更。 奈良県正強中学校を併設。
昭和42	(1967)年 4月	正強学園幼稚園を開設。
昭和44	(1969)年 3月	法人名を「正強学園」へと変更し、学校名を正強高等学校、正強中学校、正強幼稚園に変更。 奈良大学設置認可。
昭和44	(1969)年 4月	奈良市宝来町に奈良大学を開設。文学部に国文学科、史学科、地理学科を設置。
昭和45	(1970)年 4月	文学部に、教育職員免許法に基づく教育職員免許状授与資格の課程認定（教科国語・社会）。
昭和51	(1976)年 4月	文学部に、博物館法に基づく博物館学芸員授与資格認可。
昭和54	(1979)年 4月	文学部に文化財学科を増設。
昭和63	(1988)年 2月	奈良大学を、奈良市山陵町に全面移転。 4月 奈良大学社会学部を増設。社会学科、産業社会学科を設置。 幼稚園名を奈良大学附属幼稚園に変更。
平成2	(1990)年 4月	奈良大学総合研究所を設置。
平成4	(1992)年 4月	正強中学校を休校。
平成5	(1993)年 3月	総合研究棟、校友会館棟竣工。 4月 奈良大学大学院を開設。文学研究科修士課程（国文学専攻・文化財史料学専攻）、社会学研究科修士課程（社会学専攻）を設置。 大学院文学研究科に、教育職員免許法に基づく教育職員免許状授与資格の課程認定（教科 国語・地理歴史）。
平成6	(1994)年 6月	奈良県都祁村（現奈良市）に正強学園野外活動センターが竣工。
平成7	(1995)年 4月	大学院文学研究科文化財史料学専攻に博士後期課程を設置。
平成8	(1996)年 2月	図書館棟増築竣工。 4月 高等学校名を奈良大学附属高等学校に変更し、奈良市秋篠町に全面移転。
平成11	(1999)年 4月	社会学部の社会学科を人間関係学科に、産業社会学科を現代社会学科に名称を変更。 大学院文学研究科に地理学専攻修士課程を増設。
平成15	(2003)年 8月	法人名を「学校法人奈良大学」に変更。
平成16	(2004)年 3月	正強中学校を廃止。 4月 社会学部現代社会学科（企業社会情報コース）に教育職員免許法に基づく教育職員免許状授与資格の課程認定（教科 情報）。 司書課程、学校図書館司書教諭課程を設置。
平成17	(2005)年 4月	通信教育部文学部を増設。文化財歴史学科を設置。 通信教育部棟竣工。 大学院社会学研究科社会学専攻に臨床心理学コースと社会学コースを設置。
平成19	(2007)年 4月	社会学部人間関係学科の名称を、心理学科に変更。 奈良大学博物館を設置。奈良県より博物館相当施設に指定。 大学院社会学研究科社会学専攻臨床心理学コースに、臨床心理士受験資格第2種の指定。

【現況】

大学名：奈良大学

所在地：奈良県奈良市山陵町1500番地

学部及び大学院の構成・定員・学生数

	学部名	学科名	入学定員 (3年次編入)	現員				収容定員
				1年次	2年次	3年次 (編入生数)	4年次 (編入生数)	
大 学	文学部	国文学科	90	99	102	111 (0)	132 (1)	444 (1)
		史学科	135	168	159	162 (2)	163 (3)	652 (5)
		地理学科	95	107	92	101 (0)	139 (1)	439 (1)
		文化財学科	100	113	116	117 (1)	117 (6)	463 (7)
	文学部 計		420	487	469	491 (3)	551 (11)	1,998 (14)
大 学	社会学部	心理学科 (人間関係学科)	90	113	84	103 (1)	131 (5)	431 (6)
		現代社会学科	90	101	68	102 (0)	107 (1)	378 (1)
		社会学部 計		214	152	205 (1)	238 (6)	809 (7)
		通信教育部	文化財歴史学科 (200)	153	159	491 (322)	672 (672)	1,475 (994)
	通信教育部 計		500 (200)	153	159	491 (322)	672 (672)	1,475 (994)
	大学 合計		1,100 (200)	854	780	1,187 (326)	1,461 (689)	4,282 (1,015)

	研究科	専攻名	入学定員	現員				収容定員
				1年次	2年次	3年次	4年次	
大 学 院	文学研究科	国文学専攻	5	1	3	0	4	10
		文化財史料学専攻 (博士前期)	10	16	19	2	37	20
		文化財史料学専攻 (博士後期)	2	6	4	4	14	6
		地理学専攻	5	3	2	1	6	10
	文学研究科 計		22	26	28	7	61	46
	社会学研究科	社会学専攻	5	4	7	0	11	10
		社会学研究科 計		4	7	0	11	10
	大学院 計		27	30	35	7	72	56

(教員数)

	学部名	学科名	教授	准教授	講師	助教	計	兼任教員
大 学	文学部	教養部	13	5	1	0	19	59
		国文学科	7	1	0	0	8	9
		史学科	7	3	0	0	10	16
		地理学科	6	2	1	0	9	14
		文化財学科	6	2	0	1	9	18
	文学部 計		26	8	1	1	36	57
大 学 院	社会学部	心理学科	7	1	2	0	10	9
		現代社会学科	5	4	1	0	10	10
	社会学部 計		12	5	3	0	20	19
	大学 合計		51	18	5	1	75	135

	研究科名	専攻名	教授	准教授	講師	計	兼任教員
大 学 院	文学研究科	国文学専攻	7	1	0	8	1
		地理学専攻	7	0	0	7	3
		文化財史料学専攻	11	4	0	15	1
	文学研究科 計		25	5	0	30	5
	社会学研究科	社会学専攻	8	3	2	13	4
		社会学研究科 計		8	3	2	13
	大学院 合計		33	8	2	43	9

※大学院の専任教員は全員が学部との兼担である。

(職員数)

	採用別	事務局	図書館	博物館	総合研究所	情報処理センター	通信教育部	法人本部	計
大 学	専任	27	6	※(1)	2	3	4	5	47
	嘱託	9	0	※(1)	0	0	1	1	11
	臨時	4	4	0	1	0	1	0	10
	派遣	1	0	0	0	0	0	0	1
	大学 計	41	10	※(2)	3	3	6	6	69

※は兼務のため、計には含まない。